

令和7年度家畜防疫・衛生指導対策事業に係る地域自衛防疫取組推進会議

(家畜衛生部門九州・沖縄ブロック協議会)を開催しました

令和7年9月2日(火)、3日(水)、出島メッセ長崎(長崎市)において、家畜衛生部門九州・沖縄ブロック協議会を開催しました。

当日は、中央畜産会をはじめ、九州・沖縄各県の畜産主務課及び畜産協会等から39名が出席、また、来賓として九州農政局消費・安全部畜水産安全管理課の濱砂課長、小島係長にも出席していただきました。



会場(出島メッセ長崎)

【1日目】

各県畜産協会等における家畜衛生事業の実施状況について意見交換を行うとともに、農林水産省や中央畜産会への質問・要望事項に関して協議を行いました。

また、中央畜産会から衛生指導部関連事業の実施にあたっての留意事項等の説明も行われ、事業への理解を深めました。



中央畜産会 近藤専務理事の開会挨拶(1日目)



川崎先生による話題提供(2日目)

【2日目】

長崎県県北家畜保健衛生所の川崎先生から「肉用鶏農場における農場分割管理への取組み」と題して話題提供があり、出席者からは分割管理の進め方、取り組む際のポイントや必要経費等に関して、多くの質問がありました。

また、各県協会等における検査事業への対応方針、野生イノシシ豚熱経口ワクチン協議会の活動状況、家畜防疫・衛生指導対策事業(特に防疫演習)の取組状況等について活発な意見交換が行われ、実り多い会議となりました。